

BB41051 経済学基礎論

2.0単位 1・2年次 秋AB木4,5

仲重人

授業概要

マクロ経済学とミクロ経済学の入門的な内容を講義する。

備考

授業形態

講義

授業の目標と概要

ミクロ経済学とマクロ経済学の入門的な内容を講義します。

授業の進行予定

この講義では最初にミクロ経済学、その後にマクロ経済学を講義します。ミクロ経済学では、需要と供給、消費の理論、コストの概念、生産の理論、完全競争市場、そして不完全競争市場といったトピックを講義します。マクロ経済学では、国民所得、経済成長、失業、貨幣とインフレーション、景気変動といったトピックを講義します。

第1回 経済学一般について紹介します。その後、ミクロ経済学の視点から経済学的な考え方につながるいくつかの重要な概念の説明をします。

単位取得要件

原則的に2回の試験と複数の宿題の点数によって単位取得の有無が決まります。

授業外の予習復習方法

教科書をよく読み練習問題を解く努力を怠らないこと。

教材等

オフィスアワー

適時アポイントメントにより設定いたします。

学生への要望

BB41061 現代経済史

2.0単位 1・2年次 春AB金5,6

高橋秀直

授業概要

歴史的な視点と経済学の視点を併せ持つ科目が経済史です。経済史の入門的な部分を検討します。

備考

平成21年度までの「現代日本経済史」に相当する。社会学類以外の学生については、受講者の制限を行うことがある。

授業形態

講義

授業の目標と概要

近代経済成長と経済のグローバル化を、歴史的、経済学的に検討する。

授業の進行予定

単位取得要件

中間および期末テスト、出席で評価する。

授業外の予習復習方法

教材等

初回時に指示する。

オフィスアワー

学生への要望

BB41101 基礎経済数学

2.0単位 1・2年次 春AB月・水6

福住多一

授業概要

微分積分学・線形代数学の基本的な内容と計算手法を、経済学への応用例を交えながら初学者に向けて講義する。

備考

社会・国際学群の学生のみ履修可能

授業形態

講義

授業の目標と概要

経済学への応用例を交えつつ、高校レベルから段階的に数学の理解を深めてもらう。
学部の初級～中級レベルの経済学を学ぶために必要な数学を身につける。

授業の進行予定

- (1) 1次関数と市場メカニズム
- (2) 2次関数と独占・寡占市場
- (3) 指数・対数と金利
- (4) 数列と貯蓄
- (5) 1変数の微分と利潤最大化
- (6) ベクトルと予算制約
- (7) 多変数の微分と効用最大化
- (8) 行列と回帰分析
- (9) 確率とリスク
- (10) 積分とオークション
- (11) 漸化式と経済背長

単位取得要件

試験

授業外の予習復習方法

教材等

1. 経済セミナー増刊『経済学で出る数学―高校数学からきちんと攻める』日本評論社

オフィスアワー

木曜4

人文社会学系棟 A315

学生への要望

BB41131 ミクロ経済学

2.0単位 2 - 4年次 春AB火3,4

篠塚友一

授業概要

一般均衡理論の視点からミクロ経済学を講義する。消費者行動の理論, 生産者の理論, 部分均衡, 交換経済の一般均衡, 生産経済の一般均衡, 厚生経済学の基本定理等の話題をカバーする。

備考

BC12071と同一。平成21年度までの「中級ミクロ経済学」に相当する。

授業形態 講義

授業の目標と概要

ミクロ経済学の基礎概念を理解し、経済現象をミクロ経済学の視点から理解できるようにする。

授業の進行予定

- 第1回 ミクロ経済学とは何か
- 第2回 消費者行動の理論: 基礎編
- 第3回 消費者行動の理論: 応用編
- 第4回 生産者行動の理論: 基礎編
- 第5回 生産者行動の理論: 応用編
- 第6回 完全競争市場の部分均衡分析
- 第7回 交換経済における完全競争均衡
- 第8回 生産経済における完全競争均衡
- 第9回 交換経済における厚生経済学の基本定理
- 第10回 生産経済における厚生経済学の基本定理

単位取得要件

成績評価は、中間試験50%、期末試験50%

授業外の予習復習方法

教科書を読み、判らなかった部分をオフィスアワーの時に質問する。配布された練習問題を解くこと。

教材等

【教科書】入谷純・篠塚友一『ミクロ経済学講義』日本経済新聞社

オフィスアワー

随時受け付ける。

学生への要望

大学1年生レベルの微積分の予備知識があること。「経済数学」は履修済みであること。

BB41271 公共経済学

2.0単位 2 - 4年次 春AB火5,6

仲重人

授業概要

公共経済学の基本を学びます。

備考

BC11751と同一。

授業形態

講義

授業の目標と概要

この講義では、公共経済学の基本的な知識と技法を学びます。市場における効率的資源配分概念を基礎に、市場の失敗の議論を理解するために、公共財、外部不経済等といった伝統的な議論を学び、さらに、情報の非対称性がもたらす市場の失敗の議論を学びます。そして、投票制度や政治競争の分析を踏まえ、政府の失敗の議論も学びます。

授業の進行予定

1. 市場における効率的資源配分 2. 公共財供給の問題 3. 外部不経済の問題 4. 情報の非対称性がもたらす問題 5. 投票制度の問題 6. 政治競争の問題
第1回 公共経済学について概説し市場における効率的資源配分の議論を始めます。

単位取得要件

原則的に2回の試験と複数の宿題の点数によって単位取得の有無が決まります。

授業外の予習復習方法

予め指定した教材や資料をきちんと読み、理解しているかどうか練習問題や宿題などで確認すること。

教材等

オフィスアワー

適時アポイントメントにより設定します。

学生への要望

ミクロ経済学あるいは初級レベルのミクロ経済学を履修しておいてください。

BB41281 産業組織論

2.0単位 3・4年次 秋AB火3,4

篠塚友一

授業概要

「企業と市場の経済学」について講義する。マイクロ理論とゲーム理論の分析用具を用いて、産業内の諸企業間の関係を考察する。

備考 FH24081, FH25061と同一。

授業形態 講義

授業の目標と概要

「企業と市場の経済学」について講義する。マイクロ理論とゲーム理論の分析用具を用いて、産業内の諸企業間の関係を考察する。

授業の進行予定

第1回 産業組織論とは何か 第2回 独占の理論 第3回 独占の規制 第4回 独占的競争
第5回 寡占理論 第6回 共謀 第7回 市場構造と市場支配力 第8回 価格差別
第9回 垂直関係 第10回 生産物の差別化

単位取得要件

成績評価はレポートと期末試験による。

授業外の予習復習方法

配布された論文を読んで判らなかつたことをオフィスアワーの時に質問する。配布された演習問題を解き、判らなかつたことをオフィスアワーの時に質問する。

教材等

教科書は使用しない。以下の書物を参考文献として利用する。Luis M. B. Cabral, *Introduction to Industrial Organization*, The MIT Press.

Joel Watson, *Strategy*, Norton. Martin J. Osborne, *An Introduction to Game Theory*, Oxford University Press.

奥野正寛・鈴木興太郎『マイクロ経済学I, II』

オフィスアワー

随時受け付ける。

学生への要望

大学1年生レベルの微積分と中級レベルのマイクロ経済学を履修済みであること。

BB41301 経済数学

2.0単位 2 - 4年次 秋AB火5,6

福住多一

授業概要

経済理論の諸概念を正しく理解するために必要な数学基礎力をトレーニングする。解析学と線形代数学を、論理、集合、実数、線形空間、距離空間、凸解析の基礎的な内容を解説しながら講義する。

備考

BC12581と同一。社会・国際学群の学生のみ履修可能

授業形態

講義

授業の目標と概要

経済理論を正確に理解するために必要な数学基礎力をトレーニングする。

論理と集合の基本、実数・線形空間・距離空間の概念、凸解析の基礎を理解しながら、微分・線形代数、最適化の基礎知識を身につけるのが目標。

授業の進行予定

テキストにそって以下を講義する。

- (1) 学習のための準備(論理と集合)
- (2) 線形空間
- (3) 位相空間
- (4) 連続関数
- (5) 微分可能関数

単位取得要件

試験(履修者数によっては小テスト)

授業外の予習復習方法

教材等

1. 永谷裕昭『経済数学』有斐閣

オフィスアワー

木曜4

人文社会学系棟 A315

学生への要望

微分と行列の初歩的な計算力を前提とする。

これらを未習の学生は、「基礎経済数学」を履修してから、この講義を履修するのが望ましい。

BB41321 経済思想史I

2.0単位 2 - 4年次 春AB金4,5

平山朝治

授業概要

西洋中心史観から脱した、グローバルな人類的視野から経済思想を把握することを目標に、過去の諸学説を批判的に検討し、歴史理論の展開を試みる。

授業形態

講義

授業の目標と概要

古典派・新古典派の経済思想の特色を、その宗教的・哲学的背景をふまえて理解すること、それを通じて西洋中心主義を超えた人類史の見地から経済思想を考えることを目標とする。

授業の進行予定

以下の項目を順次取り上げる予定です。

諸学説の歴史的配置

利己心と徳と救済

自然法と歴史

功利主義と限界効用

単位取得要件

出席と期末試験を重視する。

授業外の予習復習方法

参考文献リストを授業中に別途配布するので、それを利用して自主的に予習・復習を行ってください。

教材等

オフィスアワー

授業終了後または予約

学生への要望

教えられたことを鵜呑みにせず自分で考える習慣をつけてほしい。

BB41331 経済思想史II

2.0単位 2 - 4年次 秋AB金4,5

平山朝治

授業概要

「経済思想史I」をふまえて、文明化、近代化及び脱近代化の時代を中心に、諸文明の経済思想の特質の形成と変容について、比較史的に考察する。

授業形態

講義

授業の目標と概要

経済思想史Iの内容をふまえて、社会経済の動態を長期的視野からとらえる経済思想・理論に関する理解を深めることを目標とする。

授業の進行予定

以下の項目を順次取り上げる予定です。

選択理論と新厚生経済学
理性の変遷
無意識・限定合理性と言語ゲーム
自生的秩序/カリスマ、中心/周縁
文明化
近代諸文明
脱近代

単位取得要件

出席と期末試験を重視する。

授業外の予習復習方法

参考文献リストを授業中に別途配布するので、それを利用して自主的に予習・復習を行ってください。

教材等

オフィスアワー

授業終了後または予約

学生への要望

教えられたことを鵜呑みにせず自分で考える習慣をつけてほしい。

BB41341 計量経済学

2.0単位 2 - 4年次 春AB水1,2

浅野 哲

授業概要

計量経済学の基礎となる古典的回帰モデルの理論を講義する。統計学・線形代数・微分積分学などの知識を前提とする。

備考

計量分析システムエリア(平成25年度以降入学者), 計量ファイナンスシステムエリア(平成24年度以前入学者)。FH22021, FH26021と同一。

授業形態 講義

授業目的

授業内容

- 第1週 計量経済学とは何か、応用例
- 第2週 統計学、線形代数の基礎(期待値、分散、共分散、ベクトル、行列等)
- 第3週 2変数回帰モデル、2変数回帰モデルにおける最小二乗法、決定係数
- 第4週 関数形の選択、推定量の統計的性質、仮説検定
- 第5週 Z検定、t検定、ガウス・マルコフ定理
- 第6週 中間テスト
- 第7週 回帰の錯誤、K変数回帰モデル
- 第8週 推定値の統計的性質、K変数回帰モデルの応用例1
- 第9週 K変数回帰モデルの応用例2、
- 第10週 多重共線性、想定 of 誤り

前提科目・履修上の注意事項

前提科目:線形代数、統計学、ミクロ経済学、マクロ経済学

単位取得条件・成績評価基準

中間試験と期末試験の結果による。

準備学習・事後学習

指定教科書

1. 浅野哲・中村二郎「計量経済学(第2版)」有斐閣 2009

参考書

1. 山本拓「計量経済学」新世社 1995

オフィスアワー

備考 (受講生に望むこと)

BB41371 ヨーロッパ社会経済史

2.0単位 2 - 4年次 秋AB木2,3

田中洋子

授業概要

女性をめぐる社会経済史をテーマとする。歴史から現在までにいたるヨーロッパ、特にドイツ社会において、女性と労働、家庭、教育、企業との関係がどのように変遷したかについて、関連文献をゼミ形式で読んでいく。

備考 西暦奇数年度開講。BC11791と同一。

授業形態 講義

科目記述

世界経済史上はじめて工業化を通じた近代化を達成し、二百年間にわたって世界の経済発展をリードしてきたヨーロッパの社会経済史を学ぶ。ヨーロッパの工業化課程の歴史を考察することにより、工業化はどのように社会、人々の暮らし方、働き方を変えたのかについて、文献を講読し、議論しながら考えていく。

到達目標

ヨーロッパ、特にその経済的な中心をなしているドイツを対象とし、工業化に伴う社会や生活の変化--工場生産と賃金労働の発展、農業や自営業の縮小や変質、女性の役割分担の変化や学歴・労働の変容、環境問題の発生と対処、人々のつながり方・組織の変化など--についての理解を深める。それと同時に、こうした変化がいかに、現在の私たちの生活と関連しているかについて、認識を深める。

授業計画

授業ではテーマ別のグループ分けを行い、各グループごとに文献の一部を担当し、授業でグループごとに報告していく形をとる。第一回めの授業でグループ分けと次週の報告者を決めるので、出席すること。課題文献は、マスターコピーをTAの人から受け取って、各自でコピーしておくか、各自購入する。報告は、グループごとにまとめてレジュメをコピー・配布して行う。パワーポイントを使用してもよいが、その場合もファイルを印刷して配布すること。担当グループの報告が終わったのち、講義による説明を加え、その後ディスカッションを行う。第1回 オリエンテーションとして、授業内容の説明を行うとともに、グループ分けと次週の報告者の決定を行う。

履修要件

積極的に参加できる人。第一回めに出席できる人。事前連絡のないレポーターのキャンセルは認められない。原則として3分の2以上の出席が必要。

成績評価

段位・成績は、期末レポート(6割)+報告(1割)+出席点(3割)の総合で行う。ただし、原則として3分の2以上の出席が必要。

教材

オフィスアワー

相談については、メールしてアポイントメントをとってください。

授業スケジュールなどの問い合わせについては、TAに連絡すること。

BB41391 日本経済史

2.0単位 2 - 4年次 秋C火・木2,3

平沢照雄

授業概要

日本経済における経済規制および労働条件規制について歴史的視点から検討する。

備考

授業形態

講義

授業の目標と概要

経済が歴史的に大変動するなかで、(1)経済社会安定のためにどのような仕組みが形成されたのか、(2)その限界はどこにあったのかについて検討することで、今日の経済社会問題を歴史的に考えるうえで必要な知識の修得を目標とする。

授業の進行予定

(1)現代の市場経済とセイフティーネット、(2)経済規制の日米比較、(3)労働条件規制と産業協力の3つを主なテーマとし、この順に授業を進める予定。

単位取得要件

授業に関するミニレポートと学期末の筆記試験により総合的に評価する。

授業外の予習復習方法

復習の際には特に授業で出てきた専門用語(テクニカルターム)について再確認することを希望する。

教材等

参考文献: 平沢照雄『大恐慌期日本の経済統制』日本経済評論社。その他の参考文献に関してはそのつど紹介する。授業に関連したDVD教材も利用する予定である。

オフィスアワー

学生への要望

授業の第1回目と2回目の冒頭で授業の進行方法および履修等に関する留意事項を提示し、それらを前提として以後の授業を進めて行くので、少なくともどちらかには必ず出席してください。

BB41411 地域経済論

2.0単位 2 - 4年次 春AB火2,3

平沢照雄

授業概要

地域産業集積をいくつかのタイプに分類し、それぞれの特徴について検討する。さらに地域経済の再生・活性化について考える。

備考

西暦奇数年度開講。

授業形態

講義

授業の目標と概要

地域経済の歴史と現状について検討する。特に産業集積に着目し、それをいくつかのタイプに分類したうえで、それぞれの特徴を明らかにする。さらにグローバル化が進むなかでの地域経済の再生・活性化について考える。

授業の進行予定

(1)日本経済の発展と地域経済、(2)産業集積の分類と地域経済、(3)経済のグローバル化と地域経済の活性化を主なテーマとし、この順に授業を進めてゆく予定である。

単位取得要件

授業に関するミニレポートと学期末の筆記試験により総合的に評価する。

授業外の予習復習方法

復習の際には特に授業で出てきた専門用語(テクニカルターム)について再確認することを希望する。また、授業で取り上げた事例と類似の事例の情報を自分で集めたり、これらに関連した文献を参考にするなどの方法によって理解を深めることを期待する。

教材等

参考文献に関してはそのつど紹介する。授業に関連したDVD教材も、積極的に活用する予定である。

オフィスアワー

学生への要望

授業の第1回目と2回目の冒頭で授業の進行方法および履修等に関する留意事項を提示し、それらを前提として以後の授業を進めて行くので、少なくともどちらかには必ず出席してください。

BB41421 開発経済学

2.0単位 2 - 4年次 春AB火5,6

箕輪真理

授業概要

This course is an introduction to development economics, covering both theoretical and empirical research related to development. The course will cover many of the key topics in development: poverty and quality, industrialization, agriculture, human capital, governance and institution.

備考 BC12731, BE22261と同一。英語で授業。

授業形態 講義

授業の目標と概要

The course will discuss key concepts and issues of economic development. By the end of the course, the students are expected to have better understanding of the challenges and opportunities faced by developing countries, and be able to critically assess sometimes conflicting views and evidence on the process of development.

授業の進行予定

Topics to be covered: (1) Economic growth and development; (2) Inequality and poverty; (3) Education and development; (4) Foreign aid, foreign debt and financial crises; (5) Trade and development; (6) Sustainable development

第1回 Introduction

第2回 Economic growth and development

第3回 Theories of economic growth

第4回 Role of the market and the state in development

第5回 Poverty and inequality

第6回 Human capital, particularly education and development

第7回 Fiscal policy

第8回 Foreign aid, foreign debt, and financial crises

第9回 Trade and development

第10回 Sustainable development and developing countries

The lecture will be in English, but students may participate in the questions and discussion either in English or in Japanese. Active participation in the class discussion is encouraged.

単位取得要件

Final take-home examination.

授業外の予習復習方法

Students are expected to read the respective chapters of the textbook in advance of the class.

教材等

Main Textbook: Perkins, et. al., *Economics of Development*, 7th Edition, WW. Norton & Co., 2012

オフィスアワー

メールにてアポイント。随時。

minowa.mari.ge@u.tsukuba.ac.jp

学生への要望

BB41501 世界経済史入門

2.0単位 1・2年次 春AB火5,6

田中洋子

授業概要

世界経済の発展とグローバル化の歴史を概観し、資本主義の展開がもたらした社会の変容を学ぶ中で、現在の自分たちが置かれている社会経済システムを、歴史的に相対化して理解できるようにすることを目標とする。授業に続いて関連映画を行うので、6限以降の時間をあけておくことが望ましい。

備考 BC12851と同一。

授業形態 講義

科目記述

世界経済の発展とグローバル化の歴史を概観し、様々な歴史的発展理論を学ぶ中で、現在の社会経済システムがどのように形成されてきたのか、それが現在の私たちの社会や生活、生き方に対してどれだけ決定的な影響力を与えているか、それが未来に何をもたらそうとしているのかを、う歴史的事実と現状分析の中から考えていく。

到達目標

現在の資本主義経済システムは、歴史的にいかなる形で生成・展開してきたか。工業化やグローバル経済の発展はどのように進み、それは社会や私たちの暮らしに何をもたらしてきたか。こうした問題について、経済発展のさまざまな歴史理論を通じて認識を深めていくことを目標とする。これを通じて、現在私たちが置かれている日常生活の中にひそんでいる、大きな世界経済の歴史的・国際的連関をより深く理解し、世界と自分との位置を客観的に認識できるようにする。

授業計画

授業は二時限連続の講義とする。講義につづいて6限途中から、授業での問題意識や歴史認識をより深めるために、授業テーマに関連した映画を上映するので、映画を最後までみるために6限以降も時間をとっておくことが望ましい。

第1回 グローバル経済の現時点 第2回 商品化と共同体 第3回 近代化論と従属理論
第4回 世界システム論とその限界 第5回 産業資本主義論 第6回 階級社会論 第7回 共産主義
経済論 第8回 資本主義対資本主義 第9回 国家と市場 第10回 多国籍企業とグローバル化

履修要件

積極的に参加できる人。

成績評価

学期末筆記試験(7割)、出席点(3割)。映画感想文で加点の可能性あり。出席は原則6割以上必要。

教材

オフィスアワー

相談についてはメールにてアポイントメントをとってください。スケジュールや映画感想などについては、TAの人に連絡をとって聞くこと。

tanaka.yoko.ft@u.tsukuba.ac.jp <http://member.social.tsukuba.ac.jp/tanaka/>

BB41521 財政学

2.0単位 2 - 4年次 春AB火5,6

桃田朗

授業概要

財政制度、公債と財政赤字、公共支出、租税、社会保障といった「財政学」の基本テーマを理論的に講義する。

備考 国際・公共システムエリア(平成25年度以降入学者)、公共システムエリア(平成24年度以前入学者)。FH23051, FH27061と同一。

授業形態 講義

授業目的

財政制度、公債と財政赤字、公共支出、租税、社会保障といった「財政学」の基本テーマを理論的に講義する。ミクロ・マクロ経済学の基礎を習得した学生を前提とする。新聞やテレビニュースなどで報道されている現代日本における財政問題を理解できるレベルに到達することが本講義の教育目標である。

授業内容

第1週 財政の役割 第2週 日本の財政制度 第3週 日本の財政赤字と財政の維持可能性 I
第4週 日本の財政赤字と財政の維持可能性 II 第5週 公共財の理論 第6週 租税の理論 I
第7週 租税の理論 II 第8週 社会保障の財政問題 I 第9週 社会保障の財政問題 II
第10週 人口減少とマクロ経済・財政

前提科目・履修上の注意事項

ミクロ経済学、マクロ経済学

単位取得条件・成績評価基準

持ち込み不可能な期末試験による。

準備学習・事後学習

受講者の理解度に応じ、授業中に指示する。

指定教科書

1. 林 宜嗣「基礎コース 財政学 第3版」新世社 2011

参考書

オフィスアワー

momotaro@sk.tsukuba.ac.jp

備考 (受講生に望むこと)

成績は試験により評価するが、授業への取り組みを加味することもある。

BB41601 国際貿易論

2.0単位 2 - 4年次 秋AB火3,4

内藤久裕

授業概要

As the economy becomes more globalized, it is becoming necessary to study the basic mechanism of international trade and its impact on welfare. In this course, we first study the concept of comparative advantage and study why countries will be engaged in international trade. Then, we study the impact on welfare by using several models. (The Ricardian, Heckscher-Ohlin and Specific Factor Model). Then, we study the monopoly model and its implication for international trade theory. In addition, we discuss the impact of international factor movement such as immigration and foreign direct investment.

備考 西暦奇数年度開講。BC11411, BE22271, FH21081, FH25051と同一。英語で授業。JTP

授業形態 講義

科目記述

As the economy becomes more globalized, it is becoming necessary to study the basic mechanism of international trade and its impact on welfare. In this course, we first study the concept of comparative advantage and study why countries will be engaged in international trade. Then, we study the impact on welfare by using several models. (The Ricardian, Heckscher-Ohlin and Specific Factor Model). Then, we study the monopoly model and its implication for international trade theory. In addition, we discuss the impact of international factor movement such as immigration and foreign direct investment.

到達目標

To be able to understand the basic mechanism of international trade, Heckscher-Ohlin model, trade policy, international oligostic market, immigration and international investment.

授業計画

第1回 Gains from Trade 第2回 Ricardian Model 第3回 Specific Factor Model
第4回 H-O model (1) 第5回 H-O model(2) 第6回 Immigration 第7回 International Investment and Policy Issues 第8回 Trade Policy 第9回 Oligopoly Model 第10回 Conclusions

履修要件

成績評価

Home Works (30%) and Final Exam(70%)

教材

1. Krugman, Obstfeld and Melitz, *International Economics, Theory and Policy*

オフィスアワー

Thursday 1:00PM-2:00PM

BB41712 経済学入門演習I

2.0単位 1 - 3年次 春C火3-6

福住多一

授業概要

経済理論やゲーム理論の基礎的な内容を演習形式で学ぶ。

備考

授業形態

演習

授業の目標と概要

実験と文献輪読を通して、経済理論とゲーム理論の理解を深める。

授業の進行予定

以下の内容をテキストに沿って、実験・報告してもらう。

- (1) 経済学の原理
- (2) 企業行動
- (3) 市場均衡
- (4) 市場構造
- (5) 消費者行動
- (6) 不確実性
- (7) 異時点間の選択
- (8) 情報の経済学
- (9) オークション
- (10) ファイナンス
- (11) 外部性
- (12) 公共財と共有地の悲劇

単位取得要件

出席+報告+課題提出

授業外の予習復習方法

実験準備などのグループワークを課す予定である。

教材等

以下のテキストおよび関連する実験の論文

1. 小川一仁、川越敏司、佐々木俊一郎 著『実験マイクロ経済学』東洋経済新報社

オフィスアワー

学生への要望

積極的に議論や実験に参加してほしい。

BB41722 経済学入門演習II

2.0単位 1 - 3年次 秋AB金4,5

高橋秀直

授業概要

経済史のテキストを輪読する。

備考

授業形態

演習

授業の目標と概要

経済史のテキストを輪読する。

授業の進行予定

単位取得要件

中間、期末テスト、小テスト、出席で評価する。

授業外の予習復習方法

教材等

初回時に指示する。

オフィスアワー

学生への要望

BB42212 外国語経済書講読II-1(英語)

2.0単位 2 - 4年次 春AB火2 春AB水6

高橋秀直

授業概要

経済史に関する英語文献を読む。

備考

授業形態

演習

授業の目標と概要

経済史に関する英語文献を読む。

授業の進行予定

単位取得要件

中間、期末テスト、小テスト、出席で評価する。

授業外の子習復習方法

初回時に指示する。

教材等

オフィスアワー

学生への要望

BB42312 外国語経済書講読III-1(英語)

2.0単位 2・3年次 秋AB火3,4

仲重人

授業概要

公共経済学や公共選択に関する英語文献を読む。

備考

G科目

授業形態

演習

授業の目標と概要

原著で読むことの面白さ、まだ翻訳されていない興味深い論文などを先取りして読むことの面白さを体験することが一つの目標です。また、英語の教材を読むことで専門用語を学ぶことも目標です。公共経済学及び公共選択論に係る古典的ないしは興味深いトピックを英語で勉強します。

授業の進行予定

原則的に、比較的容易な古典的な文献や教材、あるいは最新のトピックを紹介するつもりですが、クラスの構成を見てから決定します。

第1回 経済学の基本的概念と関連した専門用語を英語で学びます。

単位取得要件

複数のテストと課題の提出、あるいは発表により成績が決まり、その成績により単位の取得の有無が決まります。

授業外の予習復習方法

教材等

オフィスアワー

適時アポイントメントにより設定します。

学生への要望

BB43122 経済学演習II-1

4.0単位 3・4年次 春AB及び秋AB月3,4

篠塚友一

授業概要

数理経済学の基礎テキストを読む。

備考 2013年度より4年おき開講。

授業形態 演習

授業の目標と概要

集合論と位相数学の初歩と合理的意思決定理論の基礎を学ぶ。ミクロ経済理論は、集合論の記号を使って記述され、初歩の論理学を援用して理論が構築される。ミクロ経済理論を理解するために不可欠な数学を使いこなすための演習を行う。

授業の進行予定

春学期は、松坂和夫『集合・位相入門』(岩波書店)を輪読する。履修者はテキストを予め購入しておくこと。第1回目に輪読のローテーションを決定する。レポーターは担当部分のレジュメを作成し、ゼミの参加者の人数分のコピーを用意すること。レポーターは、担当部分に登場する基礎概念を判りやすく説明しなければならない。また、重要な定理の証明の解説も行わねばならない。レジュメの棒読みは禁止する。すなわち、レポーターは、レジュメに書いた主要部分をよく理解し、記憶しておかねばならない。レポーターは定理の証明のアイデアが判るように、プレゼンテーション上の工夫をこらすこと。

秋学期は、Ken Bimore, *Rational Decisions*, Princeton University Pressを輪読する。履修者はテキストを予め購入しておくこと。第1回目に輪読のローテーションを決定する。

レポーターは担当部分のレジュメを作成し、ゼミの参加者の人数分のコピーを用意すること。レポーターは、担当部分に登場する基礎概念を判りやすく説明しなければならない。また、重要な定理の証明の解説も行わねばならない。レジュメの棒読みは禁止する。すなわち、レポーターは、レジュメに書いた主要部分をよく理解し、記憶しておかねばならない。レポーターは定理の証明のアイデアが判るように、プレゼンテーション上の工夫をこらすこと。

単位取得要件

ゼミは原則として毎回出席。病気・忌引きの場合は、速やかに担当教員に連絡すること。やむ得えず欠席した者には、余分に問題を解いてもらう。履修者は2週間に1回程度練習問題の解答を提出しなければならない。レポーター以外の参加者にもランダムに質問する。質問事項は、基礎概念の理解に不可欠な事柄が主である。したがって、全参加者は、基礎概念と主要定理の予習・復習を怠らないこと。以上のことを総合的に判断して評価する。

授業外の予習復習方法

テキストの練習問題を解く。

教材等

松坂和夫『集合・位相入門』(岩波書店)

Ken Bimore, *Rational Decisions*, Princeton University Press.

オフィスアワー
随時受け付ける。

学生への要望

参加者がマイクロ経済理論の基礎を学ぶ意欲があり、そのための努力を惜しまない(ゼミのテキストの問題を解くために1週間に10時間以上費やす)ことを前提にゼミを運営する。また、夏休みに2泊3日の合宿で線型代数の問題演習を行う予定である。

BB43152 経済学演習V-1

4.0単位 3・4年次 春AB火5,6 秋C火・木4,5

平沢照雄

授業概要

日本経済の現状、経営改革や地域経済の再生といったテーマをとりあげ共に学ぶ。

備考

2013年度より4年おき開講。

授業形態

演習

授業の目標と概要

日本経済の現状、経営改革や地域経済の活性化といったテーマをとりあげ、日本経済・地域経済に関して共に学ぶ。日本経済や日本企業、地域経済に関心や興味がある学生の積極的な参加を歓迎する。

授業の進行予定

(1)日本企業や日本経済あるいは地域経済を扱った基礎的な文献あるいは最近話題になった文献を取り上げ輪読する、(2)実際に工場に出かけて「もの作り」の現場を見学し、企業経営者の話を聞く、(3)地域経済・地域認識に関するアンケートを実施したうえで、その結果について皆で検討する、という3つを主な内容とする。

単位取得要件

演習への参加態度、発表、提出レポートの内容によって総合的に評価する。

授業外の予習復習方法

輪読するテキストを予め読み、疑問点・論点などを整理して授業に参加してください。またテキストだけでなく、扱うテーマに関連する文献や情報についても参照、収集し、ゼミで積極的に発言できるように準備してください。

教材等

取り上げるテキストに関しては第1回目の授業で決定する。ひろく現代企業や現代経済、地域経済をあつかった文献でも日本企業や日本経済を考えるうえで役立つものであればテキストとして取り上げる予定である。

オフィスアワー

学生への要望

2013年度から新たな2学期制に移行するにともない、本演習も春AB火5,6と秋C火・木4,5になります。特に秋学期は火と木となりますので、この点に注意してください。また受講希望者は、両学期とも第1回目の授業の際に、ゼミの進行に関する留意点等を提示するので必ず出席してください。

BB43162 経済学演習VI-1

4.0単位 3・4年次 春AB金2 秋学期金2,3

平山朝治

授業概要

経済思想を中心とするテキスト輪読および自由研究。

備考

2013年度より4年おき開講。

授業形態

演習

授業の目標と概要

自分の問題意識に即して研究テーマを見出し、調べ、考えたことを口頭や文章で表現し、議論する技術を磨くことを目標とする。

授業の進行予定

テキスト輪読と自由研究を適当に混ぜながら、進める。

自由研究については、3年次生は年度末レポート(400字×20枚程度)、卒業予定者は卒論(メ切に間に合わなかった場合、ゼミ論)にまとめる。

単位取得要件

出席、発表、レポート等

授業外の予習復習方法

発表や討論の準備

教材等

1. 経済学史学会編『古典から読み解く経済思想史』ミネルヴァ書房、2012年

オフィスアワー

授業終了後または予約

学生への要望

卒論提出に向けて努力してほしい。

BB43172 経済学演習VII-1

4.0単位 3・4年次 春AB火3,4 秋AB金5,6

福住多一

授業概要

ゲーム理論の基本と実験手法を学ぶ。

備考

2013年度より4年おき開講。

授業形態

演習

授業の目標と概要

輪読と実験を通してゲーム理論を学ぶ。

授業の進行予定

ゲーム理論の文献輪読。

単位取得要件

出席+報告+課題提出

授業外の予習復習方法

実験データの解析を行うため、入門レベルの統計学と情報処理の課題を与える。

教材等

岡田 章 著『ゲーム理論(新版)』有斐閣

オフィスアワー

木曜4

人文社会学系棟 A315

学生への要望

実験ではなく、理論的な研究を深めたい学生諸君にも対応する。
気兼ねなく申し出てほしい。

BB43182 経済学演習VIII-1

4.0単位 3・4年次 春AB木5,6 秋AB火5,6

仲重人

授業概要

公共経済学や公共選択論のトピックを紹介します。

備考

2013年度より4年おき開講。

授業形態

演習

授業の目標と概要

経済学の一分野である公共経済学あるいは公共選択論におけるより深い議論や論争を勉強することで、経済学についてより深い理解と知識を得ることが目標です。この演習では、公共経済学あるいは公共選択論における最新の議論や論争を一緒に勉強していきます。

授業の進行予定

具体的な内容は、クラスの規模や学生の構成によって変わります。原則的には、公共経済学における市場の失敗についての古典的な議論、新しい議論、さらに批判的な議論を勉強し、その後で、政府の失敗についての議論にかかわる興味深い議論を勉強します。

第1回 市場における効率的資源配分の議論を復習します。

単位取得要件

クラスの規模や構成によって要件が変わります。人数が多い場合には、複数のテストとレポートで成績が決まります。人数が少ない場合には、複数のテスト、レポートの作成、及び発表によって成績が決まります。

授業外の子習復習方法

配布資料をとにかくよく読みこんでくること。

教材等

随時、決めていきます。

オフィスアワー

学生への要望

BB44102 経済学演習X-1

4.0単位 3・4年次 春AB及び秋AB月5,6

箕輪真理

授業概要

開発経済学に関する文献を読み、現在の開発途上国において課題となっている諸問題について理解を深める。

備考

2013年度より4年おき開講。

授業形態

演習

授業の目標と概要

開発経済学に関する文献(英語)を読み、開発途上国において課題となっている諸問題について理解を深める。開発途上国の事情を紹介したビデオなども使って、「開発」についての、より幅広い知識と理解を得ることを目指す。

授業の進行予定

文献は、経済開発について書かれた書籍、あるいは研究論文を、初回の授業でいくつか提示し、履修学生の興味を考慮して決定する予定。文献はすべて英語になる予定です。

以降の演習では、学生がそれぞれ担当した文献の内容をレジюмеにまとめ、発表し、ディスカッションのテーマとなる課題を提示する。

文献の内容を単にレジюмеにまとめてそれを読むだけではなく、「プレゼンテーション」として、聴衆に効果的に内容を伝えることも意識できるようにトレーニングしましょう。

単位取得要件

発表とレポート。ディスカッションへの積極的な参加を評価する。

授業外の予習復習方法

担当する文献を十分に理解してまとめ、クラス参加者の興味を引き出すような発表をするように準備すること。

教材等

授業第一回目に提示する。

オフィスアワー

メールにてアポイント。随時。

minowa.mari.ge@u.tsukuba.ac.jp

学生への要望

学生の皆さんには、受身でない勉学姿勢を期待します。